

会議録（会議の開催結果）

1 会議名	平成18年度 第1回さいたま市行政改革推進懇話会2005
2 開催日時	平成18年8月28日（月）午後3時45分～午後4時45分
3 開催場所	さいたま市役所 議会棟2階 別館特別会議室
4 出席者	<p>（委員）</p> <p>委員長 本田 弘</p> <p>委員 池澤 幸一 石関 精三 坂本 和哉</p> <p>島 頼子 富田 新太郎 中村 豊子</p> <p>長澤 岩作 西川 雅史 福田 誠</p> <p>森田 勝利 吉野 喜八</p> <p>（事務局）</p> <p>総務局長 大角 隆一 改革推進室長 村田 謙治</p> <p>改革推進室企画監 吉野 啓司 企画監 兵藤 健三</p> <p>副参事 森田 治 主幹 高見澤 章 主幹 大熊 研二</p> <p>主査 緑川 誠一郎 主査 佐野 篤資 主任 高橋 格</p>
5 議題及び公開・非公開の別	議題は、会議次第に示すとおり。／ 公開
6 非公開の理由	—
7 傍聴人の数	なし
8 審議内容	別紙のとおり
9 その他	<p>（会議次第）</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）行政改革推進プランに関する今後の取組みについて</p> <p>（2）事務事業評価にかかる外部評価について</p> <p>3 閉会</p> <p><資料></p> <p>資料1 行政改革推進プランに関する今後の取組みについて</p> <p>資料2 平成18年度 外部評価の実施について（案）</p>

平成18年度第1回行政改革推進懇話会2005議事録

(本田委員長) 本日の議題(1)「行政改革推進プランに関する今後の取組みについて」事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

(資料1「行政改革推進プランに関する今後の取組みについて」に沿って概要説明)
昨年策定した「行政改革推進プラン」の進行管理は、翌年度6月(決算終了後)に毎年、進捗状況や取組み結果についてまとめる。また、新たに取り組む具体的な改革事業の追加などを毎年度行っていく。この際に当懇話会に報告をして市民への公表等を行っていく。

<「行政改革推進プランに関する今後の取組みについて」の質疑>

(本田委員長) 参考1に「平成17年度行政改革推進計画の実施状況について」があるが、これについて説明はないのか。

(事務局) これは、前計画の実施状況を取りまとめたもので、今後「行政改革推進プラン」の進行管理においても、多少異なると思うが似たようなまとめ方をする予定でいるので、参考までに添付をした。

(本田委員長) これはホームページに載るのか。

(事務局) 来月上旬頃、ホームページに掲載する予定である。今後の「行政改革推進プラン」の進行管理も懇話会への報告後、2～3週間後に市民に公表していく予定である。

(島委員) さいたま市でも指定管理者を導入していると思うが、先日のプールの事故のような場合、責任割合などはどうなるのか。

(事務局) ふじみ野市の場合は、指定管理者制度ではなく業務委託をしていたようだが、公の施設の管理であるので、第一義的には設置者である市に責任があり、指定管理者側の瑕疵の状況によって、市が求償することになる。

(富田委員) 公共サービス改革法というのは、市役所の窓口業務を外部に委託するというものなのか。

(事務局) この法律は、証明書発行の窓口などを民間に委託することのできる特例を定めているもので、さいたま市が直ちにこの委託をするかどうかは別の問題と考えてもらったほうがよい。

(富田委員) このように外部委託をすれば、金銭的には安くなるのかもしれないが、問題はマル秘となっているようなものを取り扱うことになるので、それをどう抑えるのかが大事になる。よく言われているような個人情報保護を万全な形にしないといけない。

(事務局) 今まで公務員が行ってきたのは、守秘義務というものがあつたためという点は確かにある。もし窓口業務の委託化を行う場合にも、とりわけ注意して検討する必要がある。

(長澤委員) 参考でもらっている「行政改革推進計画の実施状況について」の中に「防災無線システムの強化(デジタル化)」という項目があるが、防災無線のデジタル化とはどのようなことなのか。

(事務局) 細かい内容は把握していない。今回の資料としては、行政改革推進計画で未実施の項目で新たな行政改革推進プランにないものを一覧にしており、防災無線の見直しをしないということではない。

(本田委員長) 本日の議題(2)「事務事業評価にかかる外部評価について」事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

(資料1「平成18年度 外部評価の実施について(案)」に沿って概要説明)

さいたま市行政改革推進懇話会2005の委員の方々に、事務事業評価の外部評価会議への参加をお願いしたい。外部評価会議には、懇話会委員のうち9名を選任し、9月下旬から12月下旬にかけて1委員あたり原則5回参加してもらう。

<「事務事業評価にかかる外部評価について」の質疑>

(富田委員) 去年のメンバーにプラスして9名ということか。

(事務局) 去年の外部評価会議委員については、すでに終了しており、今回選出する9名を今年のメンバーとして新たにお願いをする。

(島委員) 事業の適切、不適切の判断は難しい。

(事務局) 外部評価については、今年だけのことではなく、今後も続くので、委員の方々全員をお願いをしたい。

(富田委員) 外部評価委員については、行政改革推進懇話会2005ができたときには計画されていたのか。行政改革推進プランを策定して今後2回程度の会議に出席するというものではなかったか。

(事務局) 懇話会発足当初にみなさんに伝えた。

(森田委員) 私も質問をした覚えがあるので、このことは確認している。

(島委員) 事業の評価をするのは難しい。

(事務局) 1回の会議を3名でお願いする予定なので個人の意見だけで決まるものではない。

(本田委員長) 行政ではなく、市民の立場からみて評価をするという点がポイントである。外部評価会議の委員の意見が最大限に反映されるようになってほしい。

これから各委員のところに連絡がくるということであるから、事務局もよく説明するようにお願いします。

(中村委員) 対象事業が36事業となっているが、例年はどうなっているのか。また、どういうふうを選んでいくのか。

(事務局) 昨年度は32事業を委員の方々が興味を持ってもらった事業を選んだ。

今年度は、大きなテーマである9つの分野を選ぶことから始めて、その興味をもった大きなテーマから次に事業を選ぶようにする。